

## 生涯学習に関する世論調査の職業属性別再集計について

平成17年5月に内閣府で実施した「生涯学習に関する世論調査」において、回答者の職業属性別に再集計を行った。

- 1 調査主体 内閣府政府広報室
- 2 調査対象 (1) 母集団 全国15歳以上の者  
(2) 標本数 5,000人  
(3) 有効回収数(率) 3,489人(69.8%)  
(4) 職業属性  
自営業主:419人、家族従業者:193人、  
雇用者:1353人、無職者:1524人
- 3 調査時期 平成17年5月26日～6月5日
- 4 調査方法 調査員による面接聴取

職業属性別で差がみられた項目は以下の通り。

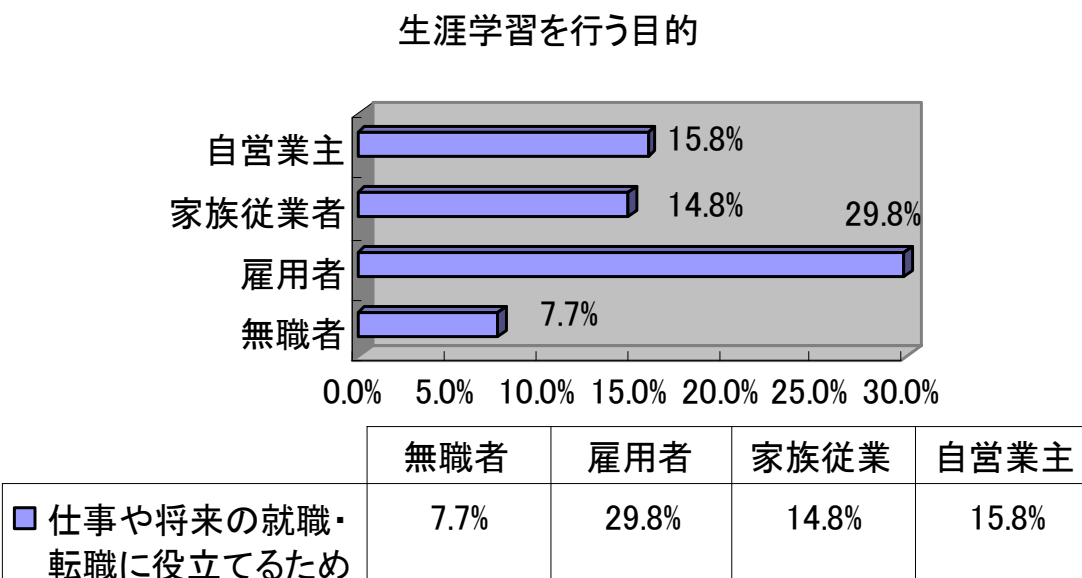
## 1 生涯学習の現状等

「生涯学習」という言葉を聞いたことがあると答えたのは、全体では79.9%であったのに対して、雇用者では83.0%，無職では76.1%であり、わずかながら周知度に差があった。

## 2 仕事や職業に関する項目について

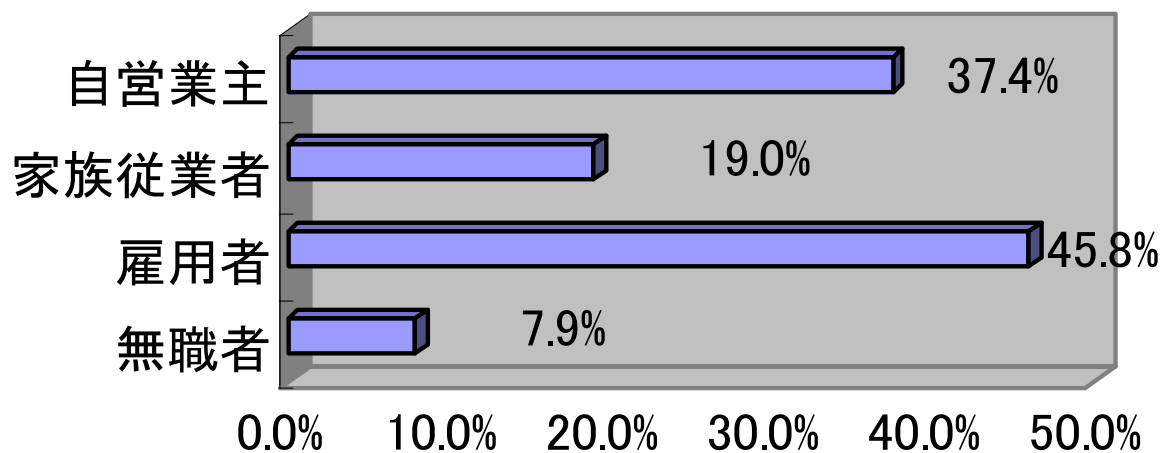
この1年間の生涯学習の実施状況について、「したことがある」と回答した者のうち、「職業上必要な知識・技能」と回答したのは、雇用者では15.2%であったのに対し、無職者では3.0%であった。

生涯学習の目的について、「仕事や将来の就職・転職に役立てるため」と回答したのは、雇用者で29.8%であったのに対し、無職者では7.7%であった。



生涯学習の成果の活用状況について、生涯学習をしたとする者のうち、「仕事や職業の上で活かしている」と回答したのは、雇用者で45.8%であったのに対し、無職者では7.9%であった。

生涯学習の活用状況



|                  | 無職者  | 雇用者   | 家族従業  | 自営業主  |
|------------------|------|-------|-------|-------|
| ■ 仕事や職業の上で活かしている | 7.9% | 45.8% | 19.0% | 37.4% |

生涯学習をしてみたい理由について、生涯学習をしてみたいと回答した者のうち、「仕事や将来の就職・転職に役立てるため」と回答したのは、雇用者で24.6%であったのに対し、無職者では10.8%であった。

してみたい生涯学習の内容について、生涯学習をしてみたいと回答した者のうち、「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)」と回答したのは、雇用者では28.1%であったのに対し、無職者では11.4%であった。

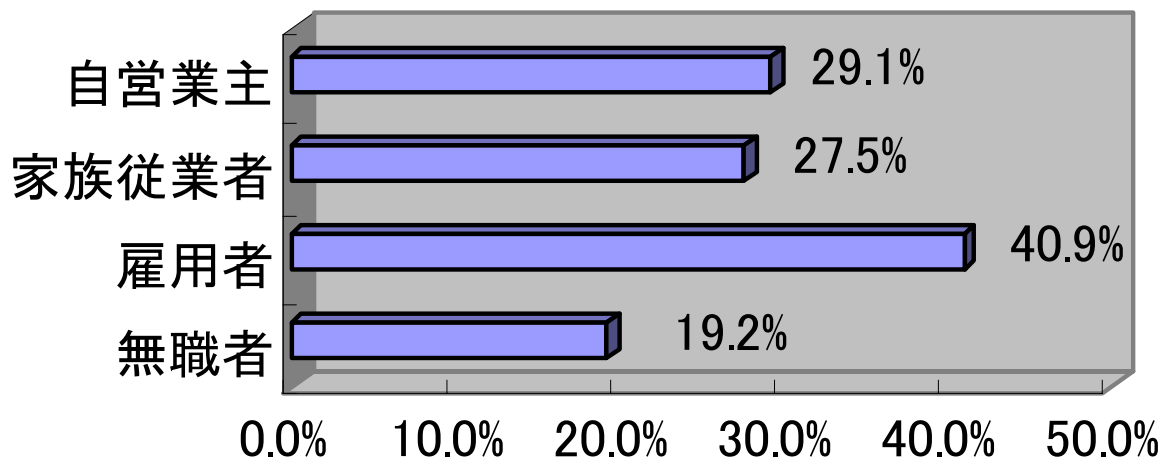
### 3 その他

生涯学習をしていない理由について、生涯学習を行っていないと回答した者のうち、「仕事や家事が忙しくて時間がない」と回答したのは、雇用者では74.8%であったのに対し、無職者では、27.5%であった。

「利用していない」と回答した者のうち、その理由として「夜間、休日に開館していない」と回答したのは、雇用者では17.5%であったのに対し、無職者では3.4%であった。

生涯学習関連施設に対する要望について、「夜間や休日でも利用できるようにする」と回答したのは、雇用者で40.9%であったのに対し、無職者では19.2%であった。

生涯学習関連施設に対する要望について

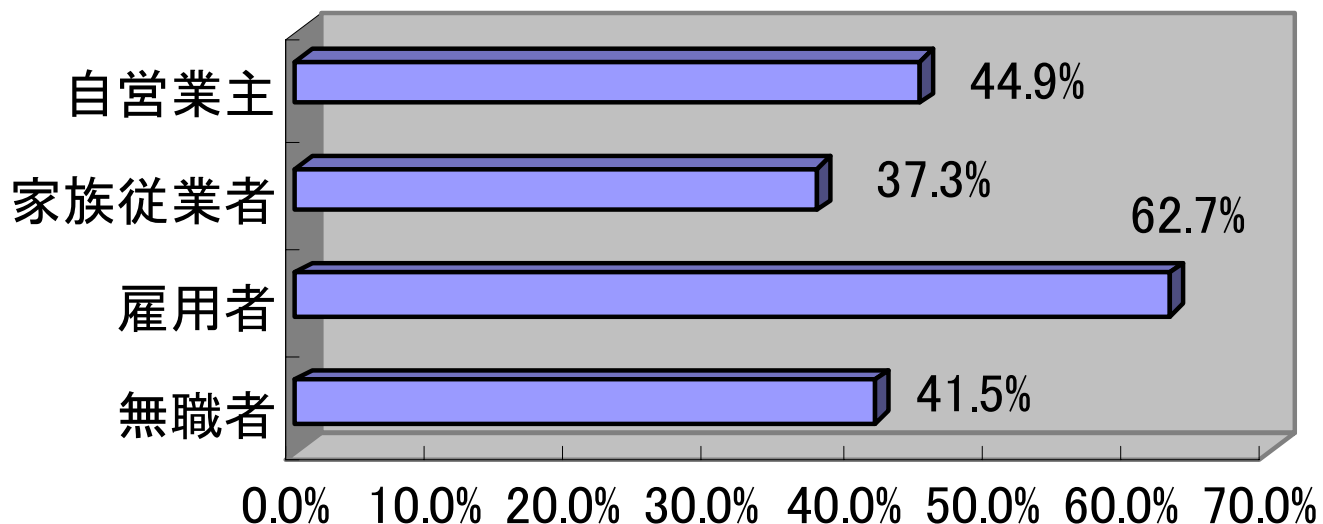


|                     | 無職者   | 雇用者   | 家族従業  | 自営業主  |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| ■ 夜間や休日でも利用できるようにする | 19.2% | 40.9% | 27.5% | 29.1% |

生涯学習の成果に対する評価について、「評価する方がよい」と回答したのは、雇用者では67.9%であったのに対し、無職者では53.1%であった。

生涯学習に関するITの活用意向について、「してみたい」と回答したのは、雇用者では62.7%であったのに対し、家族従業者では37.3%であった。

情報通信技術の活用について



|         | 無職者   | 雇用者   | 家族従業者 | 自営業主  |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| ■ してみたい | 41.5% | 62.7% | 37.3% | 44.9% |